

功労賞：会員3人・4グループ表彰



喜びの受賞者（右より）福原克巳、富永征児、井上堅、辻郁子、堀内昭、茅中英一、藤原昭宏（道満さんの代理）の皆さん

【功労会員】

- ・福原克巳（福1）：障害児の園外保育支援
- ・富永征児（園7）：幼稚園での畑・菜園指導
- ・井上 堅（福8）：高齢者施設の合唱訪問

【功労グループ】

- ・滝谷Gホーム：障害者の夜間見守り10年
- ・銀の匙：子どもや高齢者への食育支援
- ・野鳥と自然観察会：野鳥の観察と保護活動
- ・里山和楽会：里山林の整備再生活動6年

食育や自然観察活動

長年にわたる活動に対し、25年度の功労賞に選ばれた会員3人・団体4グループが5月17日〈わ〉の総会で表彰され、理事長から表彰状と副賞が手渡されました。会場からは盛大な賞賛の拍手が贈られました。今回の功労賞は、区会・部会・サークルなどから推薦のあった個人・団体を3月の運営委員会で審査し、4月の理事会で正式決定したものです。委員会では「もう少し候補を絞った方がいい」との意見もあり、26年度は再考することになりました。

【受賞者のひとこと】

◆福原克巳：障害児との接触、戸惑いもあったが多くの人の献身的な努力に魅せられ、子どもから純真さと若さを貰い、こちらがボランティアしてもらったようなものでした。高齢と腰痛で昨年6月に12年半の幕を閉じたが、仲間感謝し、この栄誉を分かち合いたいと思います。

◆富永征児：今回の受賞については、市立幼稚園の食育ボランティア活動が評価されたものと思っているが、この活動は常に東灘区会の仲間の協力を得ている活動だけに、本来はグループ受賞が妥当であったと思っています。「再び学んで・・・」の実践に頑張っています。

◆井上 堅：昔聞いた、歌った懐かしい歌と一緒に歌う。利用者さんには歌と共に昔のあの頃や思い出が蘇る。そんな活動を仲間と10年余り、（楽しかった、

ありがとう）の言葉に元気を貰っています。経験や趣味をいかして、「人のために出来ることがある」ということは、自身の「生き甲斐」になっています。今後もこの活動を続けていきたいと願っています。

◆滝谷Gホーム（堀内 昭）：活動を始めて10年、多くの方々が関わった地道な努力の結果と有難く思っています。私たちの活動は入居者の夜間と出勤までの見守りです。時には彼らの仕事のことやプロ野球の話などしています。活動メンバーの募集に苦労しています。ぜひ皆さんの参加をお待ちしています。

◆銀の匙（辻 郁子）：平成10年入学し、卒業時に私たち食文5期は「銀の匙」をグループ名として活動することにし、神出自然教育園、児童館や環境未来館などで「食」に関するボランティアを続けて参りました。その間小学生からシルバー世代までの方々と出会い、私たちも元気を貰い、心豊かに過ごすことができました。グループ功労賞を頂いたことは大変名誉なことだと感謝しています。

◆野鳥と自然観察会（茅中英一）：平成23年の神戸市環境奨励賞に続き、今回の受賞は8年目となる野鳥保護活動（巣箱・植樹管理）の仲間にとり大きな喜びであり、今後の活動継続の励みとなりました。自然豊で野鳥の多い活動場所の提供やいろいろとご指導下さった周囲の方々の温かいご支援に深く感謝しております。

◆里山和楽会（道満俊徳）：里山和楽会は平成19年4月に生環コース13期生の有志で結成し、放置林を完全に再生する里山林整備再生作業を目的としてスタートしました。学習と実践活動を重ね作業手法を習得していきました。このため毎週作業を実施し、本年3月に「かがやきの森」に見事再生した里山林が完成しました。受賞を励みに、現在この森が元に戻らないよう保全のあり方を考えております。

一澤田京子さんが表彰辞退—

個人功労者として、4月2日の理事会で表彰が決定した澤田京子さん（福7）が、その後表彰を辞退されました。理事会・運営委員会で承認されましたので、広報誌「ぎやらりーわ」4月号、カレッジ情報誌「爽風」5月号に掲載した「功労者決定」の記事のうち、該当部分を取り消します。（広報：北村洋）